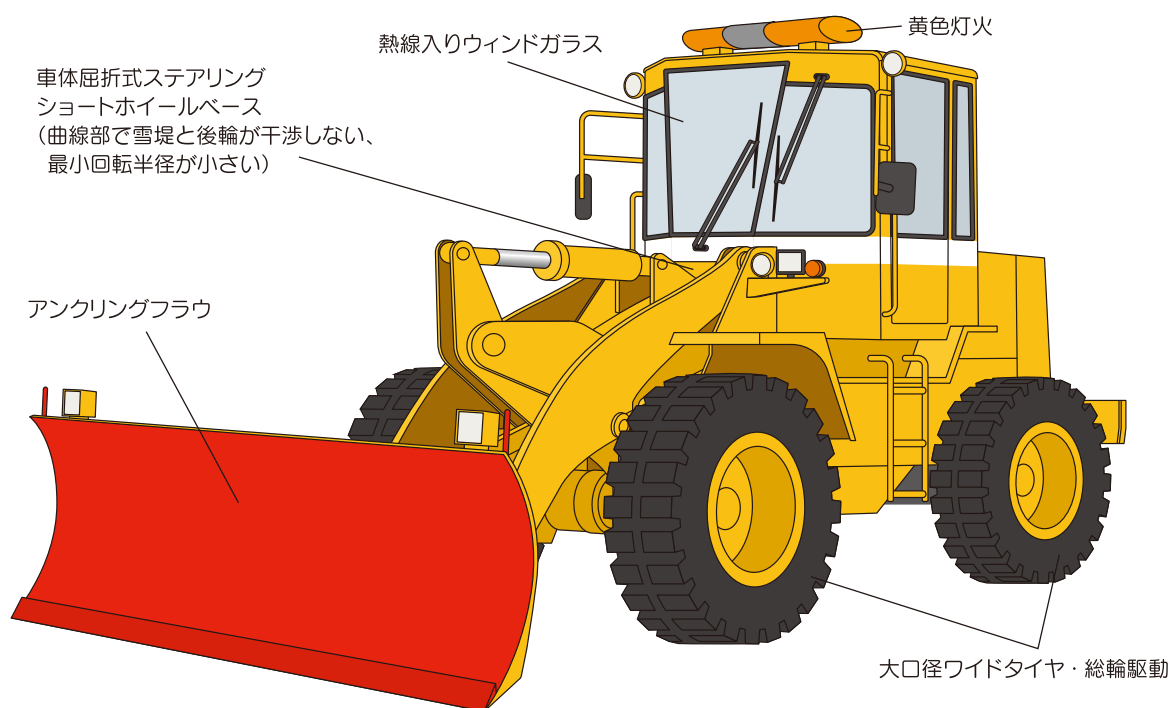


除雪ドーザ

概要

除雪ドーザはトラクタショベルをベースマシンとし、前面にブレードやバケット等のアタッチメントを取り付け除雪作業に広く使用されています。回転半径が小さく、大きな駆動力を有しておりアタッチメントを交換する事により多様な仕事ができる事が大きな特徴です。大きさは1.3mから3.7mまで各種あり、アタッチメントとして取り付けられるブラウ(ブレード)幅は2.8mから3.8mまであります。



新雪除雪作業

路面の積雪が5～6cm以上になると車両の走行速度が低下し、車両の走行が困難になります。降り始めからの降雪で交通に支障をきたす場合、さらに降り続くことが予想される場合に出動します。作業速度は10～20km/hです。



交差点除雪作業

交通量の多い交差点内では、雪による交通渋滞を避けるため、極力雪を残さずに除雪を行います。また、車両や歩行者の見通しと安全確保のため、雪堤を斬り崩したり、除去する作業を行います。

